

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
コスモス有機	牛糞・豚糞	(有)小林堆肥		0					100	堆肥	3000	11・12月	1		3000	11・12月	1	
粒状炭酸苦土石灰	炭酸カルシウム肥料									元肥	100	11～1月	1		100	11～1月	1	
椿姫 ペレット	椿油圧搾粕									元肥	100	11～1月	1		100	11～1月	1	
ハイグリーン	微量要素 苦土、マンガン、ホウ素	ダイケケミカル(株)		0						元肥	100	11～1月	1		100	11～1月	1	
根菜専用824			8	8	12	12	24	24		元肥	100	11～1月	1	8.0	100	11～1月	1	8.0
千代田550	化成肥料	サンアグロ	15	15	15	15	10	10	0	元肥	20	12～1月	1	3.0	20	12～1月	1	3.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	5	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	22	
実績使用量	11	

*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	6	16

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数/上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン		殺虫		4kg	11月	1	1		4kg	11/26	1	1	1	1
殺虫	ネマキック粒剤	イミシアホス		殺虫		20kg	11月	1	1		20kg	11/26	1	1	1	1
除草	アグロマックス水和剤	プロピザミド		除草		200g	12月	1	1		200g	12/9	1	1	1	1
殺菌	Zボルドー水和剤	銅		殺菌	500	400g	5月	1	0	500	400g	5/5	1	0	-	-
殺虫	アグロスリン乳剤	シベルメリン		殺虫	2000	100ml	5月	1	1	2000	100ml	5/5	1	1	5	5
殺菌	カッパーシン水和剤	カスガマイシン・銅		殺菌	1000	200g	5月	1	0	1000	200g	5/23	1	0	3	3
殺虫	ノーモルト乳剤	テフルベンズロン		殺虫	1000	200g	5月	1	1	1000	200g	5/23	1	1	4	4
殺虫	トクチオン細粒剤F	プロチオホス		殺虫		6kg									4	4

備考:

圃場によって状況に応じて散布。5削減内で抑えています。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	ロータリー作業、トレンチャー作業	ロータリー作業、トレンチャー作業
2月	植付作業、バオバオ被覆	植付作業、バオバオ被覆
3月		
4月	除草作業、バオバオ収納、中耕	除草作業、バオバオ収納、中耕
5月	除草作業	除草
6月		
7月	上旬～ 収穫開始	収穫開始
8月	収穫	収穫
9月	収穫	収穫
10月	収穫	収穫
11月	収穫	ロータリー作業、トレンチャー作業
12月	収穫	植付作業、バオバオ被覆

耕起開始:	平成28年11月10日
終了:	平成28年12月9日
播種開始:	平成28年12月5日
終了:	平成29年1月21日
定植開始:	-
終了:	-
収穫開始:	平成29年7月上旬
終了:	平成29年12月下旬